

令和6年度 第5回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

令和6年11月26日（火）午後2時00分～3時30分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、西尾とよ子、辛川宗雄、山下和彦、前田勝美、八百谷和子、平井育子
入江真知子、福山裕正、西村勝、深沢あゆみ
以上11名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、岡本副支所長、堀場市民福祉課長、浜部産業建設課長
遠藤地域振興課課長補佐

傍聴者 1名

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
支所長あいさつ
- 3 議題・報告事項等
 - (1) 用瀬町地域おこし協力隊の紹介
 - (2) もちがせ地域未来プランについて・・・資料1
 - (3) もちがせ地域未来プラン実施計画について・・・資料2
 - (4) その他
- 4 各課事務連絡等
- 5 閉会

3 議題・報告事項等

(1) 用瀬町地域おこし協力隊の紹介

令和6年11月1日に用瀬町に赴任した、堺^{さかい} 泰樹^{たいき}隊員の紹介。

ミッションは、①流しびな製作の技術継承と持続可能な体制づくり

②空き家の掘り起こしと利活用 の2つです。

よろしく申し上げます。

(2) もちがせ地域未来プランについて

事務局から、資料1に基づいて説明

(委員) 追加のご意見

- ・農業を続けていくための支援が必要 ふるさと納税の返礼品にならないか。
- ・JAの100円市のような販売が地域でできないか。
- ・販売場所を新たに作るのではなく、例えば郵便局、流しびなの館などすでにある施設で販売する方法もあるのでは。
- ・買い物できる所が少ない。交流場所になれるような場所としても必要。
- ・買い物できる場所など、まずは生活環境を整えないと移住者も来てくれないのではないか。
- ・お土産品など、用瀬に来なければ手に入らないものを継続して作っていけるよう考える。
- ・用瀬は昔、プリンスメロンの出荷量が鳥取県で一番だった時期がある。鷹狩の千石田んぼの周辺は良い巻物（ハクサイ、キャベツ等）が育つ土壌があるので、やる気のある人が集まって農業を始めたら、その販売方法などいろいろ先につながる事が出来ると思う。
- ・加工品の規制がここ2～3年で厳しくなったため、地域の高齢者の方などが作る漬物も売ることができなくなった。やるためには設備の先行投資が必要。行政がやる気のある人を集めてやったりするのも大切かも。
- ・農家の新規参入の時の支援の在り方も、土地のことだけでなく、農業指導や農業を辞める人の後継者になれるような仕組みなども必要。
- ・9ページの移住定住の促進の部分で「若者が住みたくなる町への取組推進」の項目を一番上にもってきた方が良いのでは。まずそこが大切。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

「○若者が住みたくなる町への取組推進」の項目については、修正します。

(3) もちがせ地域未来プラン実施計画について

事務局から、資料2に基づいて説明

(委員)

空き家活用の業務委託先は具体的に決まっているか。

(事務局)

用瀬地区は3年前から用瀬地区まちづくり協議会に委託しています。社地区、大村地区については、現在委託団体はありません。

(委員)

歴史・文化の継承を学び、関わる機会の提供について、地域の子供たちだけでなく、県外の人も対象にしたら良いと思う。用瀬を訪れる大学生たちも「流しびな」の製作体験をしたいとの声がある。そういった若者の声をぜひ生かしたい。地域課題と若者の声をマッチングできれば。

(委員)

流しびなの製作については、ただ製作して流すだけでなく、流しびなの歴史や地域の思いなどをストーリーとしてまとめた映像を見てもらってから体験してもらってはどうかと提案している。

(事務局)

製作体験については、そういった機会を地域団体と調整していきます。
用瀬を訪れる若者の声を聞く機会についても検討します。

(委員)

子育て支援について情報共有。河原町の散岐保育園が令和7年4月1日から休園になる。

(委員)

鳥獣被害対策のアイデアとして、ジビエの肉は加工所がないと年間300頭とれたとしても結局は捨てるだけになる。ジビエの肉を豚肉感覚で食べられるようになって欲しいと思うので、地域ごとに加工所があるべき。

(委員)

ひいな橋の欄干が剥がれてぼろぼろ。観光の人も見る場所なので、なんとかならないか。

(委員)

8ページ「地域団体の活動支援」とあるが、具体的な団体はあるか。地区の住民の主体で成り立っている団体が多い。そういう団体をなくさないようにする支援が必要。

(事務局)

具体的なイメージがあるわけではありませんが、支援の対象は自治会やまちづくり協議会だけではなく、魅力ある地域づくりなど、地域で活動している団体をイメージしており、そうした団体の取り組みを市としてもバックアップしていきたいと考えています。

(委員)

先日、ある高齢者施設では、リハビリを兼ねて施設内を1周するごとに施設内限定の通貨がもらえ、その通貨でギャンブルしたり健康相談を受けたりしながら認知症防止などに繋げている取組が紹介されていた。高齢者も明るい顔をしていて、そういった取組もアイデアとしてすごく面白いと思った。

4 各課事務連絡等

(事務局)

新年賀詞交換会 令和7年1月7日(火) 10時～ 用瀬町民会館 大会議室

5 その他

次回日程について ⇒ 1月か2月で日程調整。

6 閉 会